

(第7号様式の2)

事業報告書

1 事業名	「ポストコロナの新しいまちづくり」地域円卓会議
2 事業実施期間	令和2年9月 ～ 令和3年2月
3 事業目的	<p>①事業計画に至る背景（コロナ禍における現状と課題）</p> <p>「ポストコロナ」＝アフターコロナだと単に「～の後」意味し かないが、接続詞の「ポスト(post-)」だと、大きな時代の変り 目、劇的な変化の後という語感があります</p> <p>このように「パラダイムシフト」＝（ウィキペディアから引用 その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思 想、社会全体の価値観などが革命的にもしくは劇的に変化する こと）がおきる現況に、当団体としても、集い、語り合う、従 来のまちづくりがどのように変化し、どのようにまちづくりに 参加できるか議論、模索している状況にある</p> <p>また、ポストコロナのまちづくり課題が整理される場が必要（課題） だと考えている</p> <p>②事業を行う必要性（ニーズ）</p> <p>当団体では、ポストコロナのまちづくりの課題を明確にし、共有し ていくことは、とても大事（必要）なことだと考えています。</p> <p>地域課題を考える上で、課題を明確にしていく手法として、沖縄県 には公益財団法人みらいファンド沖縄が開発した「地域円卓会議」 があります</p> <p>「地域円卓会議」とは、多様な主体が積極的に参画し、お互いの資 源や課題を共有しながら、情報を積み重ね、対話を連ね、課題解決 に向けて協働できる地域社会の実現を目指す場のことで まさに今、その「場」が必要だと痛感し実施しました</p>

<p>3 事業目的</p>	<p>③市民や地域の公益性（社会貢献度）</p> <p>「地域円卓会議」はどなたでも参加（無料）できるプログラムです、また多様な主体者が参加するため、着席者（発言者）は当会代表（医師、論点提供者）、感染症予防の専門医（高山義浩医師）、県内企業、学生、マスコミ、行政、福祉団体、学識者に依頼し、市民や地域への関心も高く、公共性もあると考えています</p> <p>また、開催時に緊急事態宣言が発令されていたので、Web上での開催と集合開催のハイブリット方式を取り入れるなど、新しい手法を試しました。さらに Youtube 上にダイジェスト版を投稿し、他市町村や他都道府県が参考にできる社会貢献を目指しています</p>
<p>4 事業内容</p>	<p>①具体的な実施内容（対象者や実施場所、何をいつ実施したかなど）</p> <p>2度の「地域円卓会議」収録及び実施を行い、会場参加及びWeb上の公開を複合（ハイブリット方式）用いて、見識者、活動者、市民などと新しいまちづくりのあり方を考える機会を設けた</p> <p>①調整及び企画会議：日時：2020年9月 計3回 場所：なは市民活動支援センター</p> <p>②「DAY1」 日時：2020年10月18日 場所：公益財団法人みらいファンド沖縄／事務所</p> <p>配信用の地域円卓会議を収録、Youtubeにて内容を配信 参加者：平良斗星（司会）饒波正博（なは市民協議会代表） 高山義浩（県立中部病院医師）早瀬京鏑（オリオンビール社長） 宮里仁（那覇市市民文化部まちづくり協働推進課長） 大城喜江子（一般社団法人まちづくりうらそえ代表） 平識雅（那覇国際高校3年・フードドライブ団体 VONS 代表）</p> <p>③「DAY2」 日時：2020年10月27日 場所：なは市民活動支援センター 会議室1</p> <p>開催方法：リアル開催とWeb開催（Zoom）のハイブリット方式 参加者：平良斗星（司会）饒波正博（なは市民協議会代表） 中川廣江（琉球新報通信員）井上講四（元琉球大学教育学部教授） 他参加者25名（会場18名、Zoom10名）</p> <p>会場を交えたオープンディスカッションを実施 開催内容は録画し、Youtubeにて配信</p>

<p>4 事業内容</p>	<p>④Web に実施内容のダイジェスト版をアップ（投稿） 日時：2021年2月 内容：Youtube に地域円卓会議「ダイジェスト版」をアップ 団体内インフルエンサーを通じて拡散中</p> <p>②事業の周知方法 なほ市民協議会内メーリングリスト（登録100名）にて情報共有 公益財団法人みらいファンドおきなわ・ホームページにて告知 みちなか研究所わくわく・メール配信にて情報発信 SNS（主にFacebook）イベントページ作成、情報拡散 日本ファンドレイジング協会内にて全国（登録5000名）へ情報発信</p> <p>③コロナウィルス感染症対策（感染拡大防止に対する対応） 地域円卓会議参加、感染症専門医：高山義浩医師による感染症予防 に関するビデオレクチャー発信 感染症予防対策として、一部Web活用 リアル会場開催に関しては、参加人数制限を設け、会場か喚起、体 温チェック、手指消毒、マスク着用やフェイスガード着用、着席も 距離確保など感染症予防対策を実施</p>
<p>5 事業効果・ 今後の展開</p>	<p>①期待される効果 1) ポストコロナ、ウィズコロナの新しいまちづくりに関して、多様 な分野の活動や情報を知る機会ができる 2) コロナ感染予防の正しい知識や啓蒙が図れる 3) 多様な層の市民の参加や活躍が期待できる 4) 新しいまちづくりについて、色々なアイデアや全国的な参考 事例が共有された</p> <p>② 次年度以降の展開について 1) Youtube に情報がアーカイブされ、キーワード検索で那覇市 の助成金活用事例が共有される 2) 本記録映像を参考に、県内、県外のまちづくり活動が活発に 展開されていくところが期待できる 3) イベントハイブリット開催方式の参考として活用されていく</p>

<p>6 その他反省点など</p>	<p>良い点として 市民（民間）提案型の活動のため、幅広い人脈を活かして、まちづくり 活動する方々を招聘できた 一部 Web 開催により県外（遠隔地）からの参加者を得た</p> <p>反省点 Web 開催について、色々試行はできたが、Zoom 以外のアプリ使用 など、まだ Web 活用や知識習得に課題を残した DAY2 において、音響が聞き取りにくいなど、技術面での対応に課題 を残した 今後としては、アーカイブデータの視聴をどのように増やしてい けるかが課題となる</p>	
<p>7 スケジュール （なるべく詳細に記入して ください。）</p>	<p>時期</p>	<p>内容（場所・参加対象・人数など）</p>
	<p>2020 年 8 月～9 月</p>	<p>実施企画会議、 実施 4 回、延べ参加人数 50 名</p>
	<p>2020 年 10 月前半</p>	<p>開催告知、宣伝実施（主に Web 活用）</p>
	<p>2020 年 10 月 13 日</p>	<p>DAY1 開催・収録・Youtube 配信</p>
	<p>2020 年 10 月 27 日</p>	<p>DAY2 開催・リアル会場及び Zoom 開催 記録収録・Youtube 配信</p>
	<p>2020 年 12 月</p>	<p>ダイジェスト映像編集開始</p>
	<p>2021 年 2 月</p>	<p>ダイジェスト映像を Youtube 公開 公益財団法人みらいファンド沖縄より「実 施報告書」受取 なは市民協議会にて別途実施報告書作成 なは市民活動支援センター報告書提出</p>
	<p>2021 年 3 月 20 日</p>	<p>【成果発表会】なは市民活動支援センター にて 2 人参加予定（発表者）</p>

8 事業実施に関する支援団体の有無（該当する箇所に☑等を記入してください。）

行政との協働

企画に協力

資金提供

告知などの協力

無し

協働の内容

人材の交流／情報共有／情報提供／イベント協力／プロボノ活動の実施
那覇市協働大使委嘱/那覇市福祉のまちづくり推進委員委嘱
那覇市市制 100 周年事業実行委員会委嘱(市民枠 3 名はすべて当協議会所属)
小学校区まち協参加/子どもの居場所支援/NPO 支援/フードバンク開催・支援
市民ワークショップ開催・補助・ボランティア参加
まちづくりフィールドワーク企画・開催
なは市民協働大学院・受講参加・ボランティア参加、
那覇市市民文化部まちづくり協働推進課・論点提供「地域円卓会議」着席参加など